

桐生繊維業界の実態

平成30年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成30年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象外としております。）
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	11 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	58 億 8,090 万円	
(2) 加工高	15 億 1,377 万円	
(3) 販売高	59 億 6,289 万円	
計	133 億 5,756 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比97%）	15 億 8,080 万円	
計	149 億 3,836 万円	（前年対比 97%）
3. 組合員数（事業所数）	200 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	1,304 人	
5. 一事業所当たり従業員数	7 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	6,679 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成10年 産地収入	528 億 4,669 万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473 億 6,503 万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444 億 7,222 万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416 億 8,724 万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376 億 2,047 万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346 億 0,005 万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453 億 8,571 万円	（前年対比131%）
平成17年 産地収入	436 億 5,236 万円	（前年対比 96%）
平成18年 産地収入	397 億 4,442 万円	（前年対比 91%）
平成19年 産地収入	375 億 4,078 万円	（前年対比 94%）
平成20年 産地収入	318 億 2,356 万円	（前年対比 85%）
平成21年 産地収入	287 億 2,461 万円	（前年対比 90%）
平成22年 産地収入	257 億 4,424 万円	（前年対比 90%）
平成23年 産地収入	258 億 0,221 万円	（前年対比100%）
平成24年 産地収入	257 億 5,924 万円	（前年対比100%）
平成25年 産地収入	261 億 8,835 万円	（前年対比102%）
平成26年 産地収入	254 億 1,823 万円	（前年対比 97%）
平成27年 産地収入	218 億 6,296 万円	（前年対比 86%）
平成28年 産地収入	166 億 0,011 万円	（前年対比 76%）
平成29年 産地収入	154 億 2,194 万円	（前年対比 93%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数					従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)		計 (人)	
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	46	89	82	55	47	273	55
	内地協議会	48	61	73	57	50	241	59
桐生染色組合		10	85	49	4	4	142	55
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		12	26	68	7	13	114	47
桐生織物産地元売組合		2	3	2	0	1	6	55
桐生系商組合		7	19	8	1	6	34	47
桐生刺繍商工業協同組合		43	70	110	65	65	310	56
東日本編レース工業組合		4	38	25	5	4	72	48
桐生紋紙組合		9	2	0	4	2	8	67
東毛ジャカード刺繍協同組合		6	4	6	6	6	22	59
桐生織物商友会		8	19	14	2	6	41	53
桐生テキスタイル商業グループ		5	22	14	1	4	41	51
合計		200	438	451	207	208	1,304	

注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生燃糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。
- (10) 平成28年 3月30日 桐生意匠組合 退会。
- (11) 平成31年 3月31日 桐生織物産地元売組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	247,319	15,599	262,918	95	0	100
	内地協議会	84,263	-	84,263	92	0	100
桐生染色組合		-	35,000	35,000	92	30	70
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		64,515	53,696	118,211	97	7	93
桐生刺繍商工業協同組合		28,700	46,400	75,100	98	40	60
東日本編レース工業組合		149,637	-	149,637	101	9	91
桐生紋紙組合		3,240	-	3,240	90	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		10,416	682	11,098	92	2	98
合 計		588,090	151,377	739,467	96	9	91

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	31,040	97	20	80
桐生糸商組合	325,000	92	70	30
桐生織物商友会	112,000	122	15	85
桐生テキスタイル商業グループ	128,249	97	1	99
合 計	596,289	98	42	58

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	242,162	92	20,756	8	262,918
	内地協議会	84,263	100	-	-	84,263
桐生染色組合		35,000	100	-	-	35,000
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		115,611	98	2,600	2	118,211
桐生織物産地元売組合		31,040	100	-	-	31,040
桐生糸商組合		292,500	90	32,500	10	325,000
桐生刺繍商工業協同組合		75,100	100	-	-	75,100
東日本編レース工業組合		148,687	99	950	1	149,637
桐生紋紙組合		3,240	100	-	-	3,240
東毛ジャカード刺繍協同組合		11,098	100	-	-	11,098
桐生織物商友会		112,000	100	-	-	112,000
桐生テキスタイル商業グループ		115,424	90	12,825	10	128,249
合計		1,266,125	95	69,631	5	1,335,756

5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		78	5	13	4	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		56	26	12	6	
桐生染色組合		合織	レーヨン・アセテート	絹	綿・ウール	
		80	5	5	10	
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		23	15	10	10	42
桐生織物産地元売組合		帯地	二次製品	服飾工芸	着尺	その他
		35	20	10	15	20
桐生糸商組合		ポリエステル	アクリル	レーヨン	ナイロン	絹・綿・その他
		40	20	5	15	20
桐生刺繍商工業協同組合		婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
		15	15	20	10	40
東日本編レース工業組合		インテリア	産業資材	衣料		
		68	26	6		
桐生紋紙組合		エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
		30	55	15		
東毛ジャカード刺繍協同組合		ワッペン	Tシャツ	ワッペン・刺繍	その他の布帛	プリント加工
		78	3	14	4	1
桐生織物商友会		二次製品	和装小物	帯	着尺	その他
		80	3	3	1	13
桐生テキスタイル商業グループ		服地	ニット	その他		
		65	34	1		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量（台）
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	63
		自動織機（片レピア含）	148
		超自動織機（レピア）	341
		計	552
	内地協議会	広幅織機	6
		並幅織機	342
		小幅織機	42
		自動・レピア織機	48
		計	438
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	50	
	高圧噴射式染色機	5	
	汎用染色機	5	
	チーズ染色機	30	
	高圧液流染色機	18	
	計	108	
桐生ものづくり協同組合 （旧 桐生繊維製品協同組合）	ミシン（特殊含）	145	
	プレス	30	
	裁断機	12	
	その他	45	
	計	232	
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン	45	
	多頭式ミシン	355	
	計	400	
東日本編レース工業組合	ラッセル機	96	
	計	96	
桐生紋紙組合	デザインシステム	14	
	横彫カード・エンドレス	8	
	カードパンチ	7	
	ワンパンチ	2	
	計	31	
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン	13	
	プレス	2	
	本縫いミシン及びその他の機械	14	
	パンチング製版機及びプリント機	3	
	計	32	

7. 最近の推移（H30年10月～H31年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変らず	下降	前年対比 （%）	増	変らず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合	広幅協議会		○		98		○		98
	内地協議会			○	88			○	95
桐生染色組合				○	80		○		100
桐生ものづくり協同組合 （旧 桐生繊維製品協同組合）				○	93	○			101
桐生織物産地元売組合				○	97		○		100
桐生糸商組合				○	85	○			105
桐生刺繍商工業協同組合			○		98		○		98
東日本編レース工業組合			○		100		○		100
桐生紋紙組合				○	85			○	85
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	90		○		100
桐生織物商友会		○			122		○		100
桐生テキスタイル商業グループ				○	97		○		100
合計		1	3	8		2	8	2	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成30年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 洋装部門の国内向けニーズは多様化しており、小ロット化が進んでいる。
輸出においては、個性的な素材へのニーズはあるが、安定した受注には結びついていない。
- ・ 和装部門については、観光地等のレンタルの需要はより多くなっているようではあるが、産地製品の需要増加には結びついていない。カジュアル志向がますます強くなり、フォーマルな定番商品の動きは鈍い。

依然として、今まで市場で目にすることが少なかった製品や説得力のある製造法や目新しさなどがアピールできる商品が興味をもたれるような傾向にある。

平成30年の状況、事業概要

- ・ 洋装部門として、東京で10月に桐生テキスタイルコレクション 2019AWを開催。
また、JFW ジャパンクリエイションへの出展をした。
輸出向けとして、7月にミラノで開催されたミラノウニカに出展をした。
地域団体商標「桐生織」の海外展開事業を実施し、今後の海外販路構築に向けた戦略策定をすすめた。
- ・ 和装部門については、生活スタイルの変化による和装離れと、流通の弱体化による影響は依然として大きく、前近代的な取引慣行、不適切な販売手法などによる消費者不信の影響も少なくない。
この状況に対応するため、歴史ある産地で信頼のもてるメーカーを市場にアピールすることを目的に、新製品の開発事業や東京・京都等の集散地で開催する販路の開拓事業や消費者に直結する展示会、販売会への参加など積極的に展開した。

今後の課題

- ・ 洋装部門として、独自性のある付加価値の高い織物の開発を継続していくとともに、より幅広い販路に向けて効果的なプロモーションをしていくことが重要だと考えられる。
- ・ 和装部門については、以前から問題となっている和装離れの歯止めや、消費者の業界に対する不信感の払拭のためのモラルの確立など、産地和装製品の消費拡大に対する懸案は増加するばかりで、さらに継続する生糸価格高騰のコストアップへの対応や関連工程の技術者不足など課題は多い。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 織物、レースカーテン、衣料用レース共全般的に不調。特に衣料用レースは壊滅的に悪い。
- ・ 染色の依頼は激減している。

平成30年の状況、事業概要

- ・ 相変わらず医療用カーテン、アカスリは好調。
- ・ アパレルの復調が待たれる。

今後の課題

- ・ 染色業界は委託産業、客先の景気に左右される。
これからは生き残る為に、少しでも自社で物作りを進めて安定型企業に転換していかなければならない。
地元にある研究機関、繊維工業試験場を活用し、協同事業を活性化することが必要。

桐生ものづくり協同組合（旧 桐生繊維製品協同組合）

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 市場は益々グローバル化している。日本製を海外のニーズに合わせて製品化するのが課題だ。
国内では、生産の難しい高付加価値商品とブランド力が合さる事で物も良く売れている。

平成30年の状況、事業概要

- ・ 人口減少や高齢化社会の中、国内市場規模は縮小している。そこに世代交代による後継者問題も加わり繊維業界全体が非常に悪い状況が続いている。
組合事業の中心である外国人技能実習生事業は法改正後やっと手続等もスムーズに進む様になったが、新規の受け入れは慎重な企業が多い。

今後の課題

- ・ 今まで以上に地域としての取り組み強化や、他の業種とのコラボなどが必要。また、ファッション的アイテム以外のグッズアイテムや、工業製品的なものにも目を向ける必要がある。
また、4月1日から新たな外国人材の受け入れ「特定技能」がスタートしたが受け入れ可能職種の14分類には繊維分野は無く、今後業界としても受け入れの要請を強く希望する。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 程、全品種において、売りの動きが鈍く成っている。特に同織度の物はより安価なポリエステルへの代替に向かっている。数量は少ないが、特徴のある品質の物は一定量動いている。

平成30年の状況、事業概要

- ・ 前年ある程度良かった車関係も一段落し、電気自動車等、需要の分化に伴い発注先のより細分化が行われようとしている為、当産地への発注低下となっているようだ。
医療品関係の一部は本年も一定量受注しているようだ。

今後の課題

- ・ 糸商組合員も各々高齢化が進み、後継者が居ないところは廃業も止むを得ない処へ近づいている様だ。
民間だけでは限界に近い繊維業界にどう活力を与えられるかが大きな課題と考える。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 消費者ニーズの多様化による、小ロット生産があいかわらず主体となっている。また、低価格、短サイクルが求められている。

平成30年の状況、事業概要

- ・ 全体的に刺繍関連は受注が若干下がりました。
円安に伴う材料費等の値上がりが問題です。

今後の課題

- ・ 技術者の高齢化による人材の確保はあいかわらず難しい状況です。
- ・ 組合として可能な限り、色々な事にチャレンジを続ける事で、個々の企業の技術、得意分野を磨き続けることにより、桐生刺繍の素晴らしさを全国に、そして世界に発信していきたいと思えます。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ ニトリで販売されるような低中級品と高級品の二極化が進んでいると思われる。
- ・ マフラーも高級志向が感じられる。

平成30年の状況、事業概要

- ・ 一般家庭向けレースカーテンはふるわず、コントラクト(工事)物件が好調であった。

今後の課題

- ・ 原料の高騰、人手不足が深刻な問題。
- ・ 消費税アップ後も小売価格は上がらないことが予想され、そのシワ寄せが我々生産者に来ないよう一層の商品開発が必要である。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 若年層を中心としたPC・スマホからの購入者の増加により、その対応が不可避となっています。
また、ナショナルブランドに対向すべくニッチな商品・商材探しが必要になっています。

平成30年の状況、事業概要

- ・ 繊維製品全般で言えば、厳しい状況であると思われませんが、成果を出している企業も有りますので、悲観的になり過ぎてもどうかと思われま。

今後の課題

- ・ 事業継承問題や人手不足による各分野の縮小がますます見込まれ、産地としての形成が危ぶまれます。そこに特化した施策が必要と思われま。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 商品価格が高いと売れない。そのため販売価格が上がらない。
- ・ 今は、服を借りることができる。買わないで借りる傾向が出てきた。
洋服価格の上代は変わらないが、生地他に工賃、運賃など生産コストは上昇していて、アパレル会社の利益が減ってきている。
また、売れ筋に商品デザインが偏り、売り場、フロアーの同質化を招いている。
変化を求める消費者においては、少量で話題性があれば、高額商品を購入するものも出てきている。

平成30年の状況、事業概要

- ・ 年明けから受注数量が減り続けている。減収基調は、変わらない。
発注ロットは少ないまま推移している。
高速織機にかかるロットがないため定番商品の品質が不安定となっている。反面、若年ゾーンの消費は、増えてきている。
ドレスなど華やかなアイテムが増え、光沢のある素材が好調である。
太番手のざっくりしたニットのトップが受けている。

今後の課題

- ・ 生産現場の高齢化が進み存続が危ぶまれる。
熟練者の減少とともに技術の熟練度が下がってきている。各工程の若手の育成が急がれる。
- ・ 消費者のニーズがより不透明になってきているため、欲しいものが見えてこない状況にある。
販売チャネルの改革が必要と思われる。たとえば、ネット上の影響力のある人を起用するなどの新しい試みが必要ではないか。

以上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	牛 腸 章	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	伊 藤 久 夫	桐生市相生町2-620 (株)アート 内	54-5178
桐生商工会議所 繊維部会	朝 倉 泰	桐生市錦町3-1-25	45-1201
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)	岡 部 利 明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生糸商組合	川 村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株) 内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	村 田 欽 也	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒 澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ 内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠 田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協) 内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	後 藤 誠 三	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協) 内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐 内	32-5573

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター 内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電 話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300